

令和5年5月1日
千葉県報号外第51号別冊

財 政 事 情

第150回

千 葉 県

ま え が き

ここに、「第 150 回千葉県財政事情」を公表いたします。

この「財政事情」は、県の財政状況を県民の皆さんに広く知っていただくため、毎年 2 回公表しているものです。

今回は、令和 5 年度当初予算及び令和 4 年度下半期における歳入歳出予算の概要を中心に、県の財政状況についてお知らせいたします。

目 次

第 1	令和 5 年度の予算について	1
1	予算の編成方針	1
2	主な事業について	3
3	一般会計予算の状況	14
4	特別会計予算の状況	51
第 2	令和 4 年度予算の補正状況について	53
1	一般会計予算の補正状況	53
2	特別会計予算の補正状況	60
第 3	県民負担の状況について	61
第 4	県有財産の状況について	62
第 5	県債及び一時借入金の状況について	63
第 6	令和 4 年度予算の執行状況について	64

図 表 目 次

第 1 表	令和 5 年度一般会計当初予算歳入款別対前年度比較	15
第 2 表	令和 5 年度一般会計当初予算県税対前年度比較	17
第 3 表	一般会計当初予算県税の推移	18
第 4 表	一般会計当初予算財源別の推移	19
第 5 表	令和 5 年度一般会計当初予算歳出款別対前年度比較	21
第 6 表	令和 5 年度一般会計当初予算性質別経費対前年度比較	49
第 7 表	令和 5 年度一般会計当初予算義務的経費と投資的経費 対前年度比較	50
第 8 表	一般会計当初予算経費別の推移	50
第 9 表	令和 5 年度会計別当初予算規模	51
第 10 表	会計別当初予算規模の推移	52
第 11 表	令和 4 年度一般会計歳入予算の補正状況	54
第 12 表	令和 4 年度一般会計歳出予算の補正状況	56
第 13 表	令和 4 年度一般会計歳出予算の性質別経費の補正状況	58
第 14 表	令和 4 年度特別会計予算の補正状況	60
第 15 表	令和 4 年度県税収入と県民負担の状況	61
第 16 表	令和 2 年度県有財産の状況	62
第 17 表	令和 4 年度県債の状況	63
第 18 表	令和 4 年度一般会計歳入予算の収入状況（下半期）	64
第 19 表	令和 4 年度一般会計歳出予算の支出状況（下半期）	64
第 20 表	令和 4 年度特別会計歳入予算の収入状況（下半期）	65
第 21 表	令和 4 年度特別会計歳出予算の支出状況（下半期）	65
第 1 図	令和 5 年度一般会計当初予算歳入対前年度比較	16
第 2 図	県債及び歳入総額に占める県債の比率の推移	18
第 3 図	一般会計当初予算財源別構成比の推移	20
第 4 図	令和 5 年度一般会計当初予算歳出対前年度比較	22
第 5 図	令和 5 年度一般会計当初予算性質別経費	49
第 6 図	令和 4 年度一般会計歳入最終予算の状況	55
第 7 図	令和 4 年度一般会計歳出最終予算の状況	57
第 8 図	令和 4 年度一般会計歳出最終予算の状況（性質別）	59

第 1 令和 5 年度の予算について

1 予算の編成方針

(1) 国の予算

令和 4 年 12 月 2 日に閣議決定された「令和 5 年度予算編成の基本方針」では、足元の物価高を克服しつつ、経済再生の実現に向け、民主導での成長力の強化と「構造的な賃上げ」を目指し「人への投資」の抜本強化を図るとともに、科学技術・イノベーション、スタートアップ、グリーントランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーション等といった成長分野への大胆な投資を促進するとしています。

また、コロナ禍において、婚姻件数・出生数が急激に減少するなど少子化が危機的な状況にある中、結婚・妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目ないこども・若者・子育て世帯への支援など、少子化対策を含むこどもに関する必要な政策の充実を図るとともに、全ての人が生きがいを感じられ、多様性のある包摂社会を目指し、全世代型社会保障の構築、女性活躍、孤独・孤立対策、就職氷河期世代への支援等に取り組むとしています。

さらに、防災・減災、国土強靱化等の国民の安全・安心の確保を始めとした重要な政策課題について、令和 4 年度第 2 次補正予算と一体として、メリハリの効いた予算編成を行い、その政策効果を国民や地方の隅々まで速やかに届け、新しい資本主義の旗印の下、我が国経済を持続可能で一段高い成長経路に乗せていくことを目指すとしています。

(2) 地方財政計画

令和 5 年 1 月に総務省から示された地方財政の見通しでは、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の増加などが見込まれる一方で、社会保障関係費の増加が見込まれることなどにより財源不足が生じる等、依然として厳しい状況となっています。

このため、住民のニーズに的確に応えつつ、地域のデジタル化や脱炭素化の推進など様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、「経済財政運営と改革の基本方針 2022」（令和 4 年 6 月 7 日閣議決定）等を踏まえ、令和 4 年度と同水準を確保することを基本として、引き続き生ずる大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講ずることとされました。

令和 5 年度地方財政計画の歳入歳出規模のうち、通常収支分の規模は 92 兆 350 億円で、前年度に比べ、1 兆 4,432 億円増加しています。また、東日本大震災分の規模は 2,647 億円で、前年度に比べ、436 億円減少しています。

(3) 本県の予算

ア 令和5年度当初予算編成の基本的な考え方

令和5年度当初予算では、総合計画の年度目標である6年度に向けて、感染症対応や防災・交通安全対策など、危機管理や安全確保にしっかりと取り組みながら、将来の千葉県の発展につなげていくための予算としました。

具体的には

- ・産業拠点や道路ネットワークの整備、脱炭素を契機とした新産業の創出などによる県内経済の活性化
 - ・公立学校給食費の無償化や保育の質の充実、キャリア教育などの子育て・教育施策の推進
 - ・150周年記念事業や海の魅力発信を通じた地域づくりや千葉ブランドの確立
- をはじめ、医療・福祉の充実、農林水産業や観光、文化・スポーツの振興、DXの推進など、各分野にわたり総合計画に掲げた施策を確実に実施してまいります。

また、国の補正予算を活用し、当初予算と令和4年度2月補正予算を一体的に編成することで、これらの取組を切れ目なく進めてまいります。

イ 令和5年度一般会計予算規模

令和5年度一般会計当初予算の規模は、2兆1,971億25百万円で、前年度と比較し、198億60百万円、0.9%の増となっています。

(参考) 一般会計、特別会計、公営企業会計規模

(単位：百万円、%)

区 分	令和5年度 当初 ①	令和4年度 当初 ②	対 前 年 度 比 較	
			増 減 額 ①－②＝③	増 減 率 ③／②
一 般 会 計	2,197,125	2,177,265	19,860	0.9
特 別 会 計 [18会計]	2,104,114	1,830,220	273,894	15.0
公 営 企 業 会 計 [5会計]	319,732	309,126	10,606	3.4
合 計	4,620,971	4,316,611	304,360	7.1

2 主な事業について

(1) 危機管理体制の構築と安全の確保

ア 感染症等健康危機への対応力強化

- 令和5年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、患者受入のための病床や宿泊施設の確保、臨時医療施設の運営、自宅療養者の支援、入院医療費の公費負担、検査・搬送・ワクチン接種体制の確保、医療機関の設備整備、保健所の体制強化など、必要な経費を計上します。
- 以上の感染症対策経費については、今後の状況が不透明なため、約半年分を計上しています。今後、状況を見定めながら、必要に応じ補正予算等を検討していきます。

イ 災害から県民を守る「防災県」の確立

- 市町村における自助・共助の取組強化や災害対応のデジタル化を推進するため、従来の補助制度の内容を見直した千葉県地域防災力充実・強化補助金により、令和5年度から7年度までの3年間で集中的に市町村の取組を支援します。
- 市町村向けの運用が開始された津波浸水予測システムを活用し、的確な救助活動に繋げるため、関係市町と連携した防災訓練を実施します。
- 地域防災力を支える将来の担い手を育てるため、小学校の授業で活用する防災教育の副読本を作成します。
- 令和8年度の地震防災戦略の改訂に向け、地震被害想定調査に着手します。
- 災害発生時の情報伝達・収集体制を強化するため、老朽化した防災行政無線や消防救急無線を更新するとともに、消防ヘリコプターによる広域的な情報収集体制を構築するほか、小規模河川における危機管理型水位計や河川監視カメラの設置を進めます。

ウ 防災基盤の整備

- 一宮川流域浸水対策については、中流域の護岸法立や第二調節池の増設などを進めるとともに、上流域や支川の浸水対策にも取り組みます。
- また、河道拡幅などの河川改良や護岸改修などの海岸保全施設整備を拡充するほか、土砂災害対策や農地防災対策も強化します。
- 盛土規制法の施行に伴う新たな規制区域の指定に向け、基礎調査を行います。
- 今後改修時期を迎える県庁舎について、整備手法を検討するため、老朽化調査等を行います。また、老朽化が著しい各地域の合同庁舎等について、集約化して再整備するため、工事や設計を進めます。
- 家畜伝染病に対する防疫体制を強化するため、老朽化している東部家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所及び中央家畜保健衛生所佐倉支所を移転集約化し機能強化を図る工事を進めます。

エ 暮らしの安全・安心の確保

- 後を絶たない電話d e詐欺の防止対策として、高齢者安全対策アドバイザーを配置し、戸別訪問による防犯指導に取り組みます。
- 地域に自主的な防犯活動が定着するよう、市町村における防犯アドバイザーの配置に対し支援します。

- 110番通報に迅速に対応するため、警察官を現場に急行させる通信指令システムを更新します。
- 飲酒運転の根絶に向け、あらゆる機会を活用した広報啓発を行うとともに、飲酒運転根絶条例の改正に伴い新たに罰則が設けられたことなどについて周知を強化します。
- 通学路の緊急点検の結果を踏まえ、歩道整備や信号機の新設・改良等の予算を増額し、引き続き通学路の安全対策を強化します。また、横断歩道上の交通事故を防止するため、広報啓発と取締りの両輪により「ゼブラ・ストップ活動」の周知徹底に取り組みます。
- 消費生活相談の充実を図るため、県消費者センターにおいて電子メールによる相談を始めるとともに、成年年齢の引下げを踏まえ、消費者トラブルに関する若者向け映像教材を作成します。
- 霊感商法を含めた悪質商法の被害防止のため、消費者に向けた広報啓発や消費生活相談員に対する研修を行います。
- 性犯罪・性暴力被害者の方に対し迅速かつきめ細かな支援を行うため、ワンストップ支援センターの電話相談を24時間・365日の対応に拡充します。

(2) 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

ア 経済の活性化

<産業の振興と企業立地の促進>

- 働き方や産業の転換期を迎えている中、将来を見据えた産業の誘致・創出を図るため、成田空港周辺、かずさアカデミアパーク、幕張新都心、柏の葉、北千葉道路沿線、アクアライン着岸地周辺など、本県経済を牽引していくことが期待される地域について、現状や将来性、優位性などを調査します。
- 成田空港周辺地域について、成田空港の更なる機能強化を最大限生かした地域の活性化に向け、脱炭素地域づくりや産業形成、地域資源を活かした魅力的な都市形成などを検討します。
- 成田国際空港へのS A F(※)の導入により、脱炭素社会の実現や本県経済の活性化を図るため、地域資源を活用したS A Fのサプライチェーン構築の可能性について調査を行います。
※S A F… Sustainable Aviation Fuel(持続可能な航空燃料)の略称で、木質系廃材や廃食油などを原料とし、通常の化石燃料よりも二酸化炭素排出量を削減できる航空燃料。
- 京葉臨海コンビナートについて、日本をリードするカーボンニュートラルコンビナートへの転換を促進するため、立地企業等で設置した協議会を運営するとともに、業種を超えた企業間連携プロジェクトの推進に必要な調査を行います。
- 洋上風力発電について、適地である太平洋沿岸地域において、地元の合意形成を図りながら導入の検討を進めるとともに、県内企業の洋上風力発電関連産業への参入を図るマッチング商談会等を引き続き実施します。さらに、洋上風力発電の導入を関連産業の集積など地域経済の活性化に繋げていくための基礎調査を行います。
- 新たなエネルギーとして期待される水素について、今後まとまった需要が見込まれる物流・地域交通事業の動向や効果的な供給方法などを県内の複数地域において調査します。

- 各地域における課題解決に向け、様々な分野で中小企業や大学など多様な主体が連携して取り組む実証実験を支援します。
- 県内へ立地する企業等を支援する立地企業補助金について、近年の賃借立地ニーズの高まりを踏まえ、本社や研究所等の賃借での立地を対象とする「賃借型」の制度を創設します。
- 健康・医療分野のものづくりを促進するため、中小企業と医療機関等のマッチングや製品開発の支援を引き続き行うほか、販路拡大につながる展示会への出展を支援します。
- 優秀な起業家を育成していくため、起業家の発掘から経営支援まで一貫した支援を引き続き行うほか、小中学生を対象とした起業体験や高校生・大学生等を対象としたワークショップを開催します。
- 県内インキュベーション施設に入居する、革新的な技術を有するベンチャー企業に対し、地域経済を牽引する企業へと成長を促すための短期集中的な伴走支援を行います。
- 優れた技術を有する中小・ベンチャー企業の販路拡大を促進するため、国内外の展示会への出展や企業の開発部門とのマッチングに対する支援を拡充します。

<中小企業・小規模事業者の経営基盤強化>

- 中小企業振興資金について、感染症対策に加え、今後の災害等の突発的な資金需要にも対応できるよう、必要額を計上します。
- 感染症の長期化や物価高騰等により厳しい経営環境が続いている中小企業を支援するため、伴走支援体制を強化します。
 - ・ チャレンジ企業支援センターの無料相談を引き続き実施します。
 - ・ 中小企業の事業承継を促進するため、専門家による訪問相談を拡充します。
 - ・ 事業再構築に取り組む中小企業に対し、専門家による伴走支援を拡充します。
- 中小企業と企業の成長に必要な人材をマッチングする「プロフェッショナル人材戦略拠点」について、小規模事業者への支援を充実するため、体制を強化します。さらに、小規模事業者への伴走支援の強化を図るため、身近な支援機関である商工会・商工会議所等が体制を充実させるための支援を行います。

<雇用対策と人材の育成・確保>

- 感染症の影響から回復途上にある雇用状況を好転させるとともに、今後深刻化が見込まれる中小企業の人手不足に対応するため、各種支援策を充実します。
- 特に令和5年度は、「ジョブカフェちば」において、工業高校や高等技術専門校と中小企業のマッチングを促進するための体制を強化します。さらに、高等技術専門校の入校促進のため、訓練科の新設等に伴う施設整備を行うとともに、工業高校との共同パンフレットを作成するなど情報発信を強化します。
- また、多様な働き方を推進するため、女性や中高年齢者を支援する「ジョブサポートセンター」において、在宅ワーク希望者の就業支援など、新しい働き方のニーズに対応するための取組を拡充します。さらに、働き方改革やテレワークの導入に取り組む中小企業等に対しアドバイザーを派遣するとともに、特設ホームページを開設し、テレワーク可能施設の見える化など効果的な情報発信を行います。

＜観光立県の推進＞

- 新しい旅のスタイルであるワーケーションについて、モニターツアーを通じた企業と受入地域のマッチングやPR動画による情報発信など、企業での制度導入を促進するための取組を拡充します。
- 国内外に本県の魅力を発信するため、観光プロモーションや教育旅行の誘致などに総合的に取り組みます。特に令和5年度は、観光情報サイトのリニューアル整備を行うほか、レンタサイクルを含めた県内周遊観光プロモーション、千葉県誕生150周年記念事業に合わせたデジタルポイントラリーなどに取り組みます。

イ 農林水産業の振興

＜次世代を担う人材の育成・確保＞

- 次世代を担う人材を確保するため、青年就農者に対し資金を交付するとともに、就農者確保や就業環境改善の取組に対する支援を拡充するほか、本県の就農地としての魅力を発信するため、民間情報サイトを活用した情報発信を行います。
- 漁業の担い手確保のため、地域が行う先進的な就業者定着の取組を支援するとともに、令和5年度から就業に必要な漁船等の導入支援を行います。

＜農林水産業の成長力の強化＞

- 農業、畜産業、水産業及び林業の生産性の向上や作業の省力化を図るため、スマート技術を活用した取組に対する支援を拡充します。
- 国内外で需要が急拡大するさつまいもの生産・流通体制を強化するため、さつまいもの生産拡大に必要な施設整備を支援します。
- 飼料用米の需要増に対応するとともに米価の安定を図るため、飼料用米等の新規需要米への転作を引き続き推進します。
- 経営の大規模化による生産性向上や担い手不足への対応を図るため、農地中間管理機構等を活用した農地集積への支援を拡充するとともに、農業者が高収益化を図るために行う施設整備等に対し引き続き支援します。
- 農業生産の省力化や廃プラスチックの排出量削減を図るため、土壌中で微生物により分解される生分解性マルチ資材の導入に対し、3年間の集中的な支援を行います。
- 輸入粗飼料の高騰を受け、粗飼料自給率の向上を図るため、飼料の生産面積拡大につながる機械の導入や二期作・二毛作の実施を支援します。
- 乳牛の生産性向上を図るため、ゲノム解析を活用した高能力牛の受精卵供給・利用のモデル事業を行います。
- イノシシなど有害鳥獣の被害防止のため、捕獲事業や防護柵の設置に対する助成等を行います。また、本県の有害鳥獣対策やジビエへの関心を高め、幅広い担い手の確保につなげるため、捕獲体験やふるさと納税の寄附などを通じて参加していただく「(仮称)千葉県有害鳥獣捕獲協力隊」を結成します。
- 都市部と森林地域の市町村が連携して森林環境譲与税を活用した森林整備に取り組むモデル事業について、より広域のモデル地域を設定して実施します。

- 地域水産業の活性化を図るため、漁業協同組合等が策定した「浜の活力再生プラン」に基づく収益向上のための施設整備を支援するほか、水産物の生産・流通機能の強化を図るため、令和5年度から銚子漁港の整備を加速化します。
- 老朽化している水産総合研究センターについて、東京湾漁業研究所の大規模改修工事を進めるとともに、種苗生産施設の再編整備に向けた改修工事に着手します。

＜市場動向を捉えた販売力の強化＞

- 県産農林水産物の魅力を消費者に浸透させ、需要の創出・拡大につなげるため、「千葉県の顔」となる品目を核とした集中プロモーションを行うことで、県産農林水産物全体のイメージアップを図ります。
- 多彩な県産農林水産物をまとめてPRできる新しい「千葉料理」として考案した「黒アヒージョ」について、認知度向上やブランド化に向けた取組を行います。
- 県産農林水産物の輸出を促進するため、成田市場等と連携したプロモーション活動を行うとともに、輸入規制が緩和された台湾への輸出拡大に向けた現地プロモーションを実施します。

ウ 社会資本の充実とまちづくり

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備を強力に進めます。
令和5年度は、北千葉道路をはじめ、アクセス道路や地域に密着した道路の整備を推進し、銚子連絡道路横芝光町～匝瑳市間と長生グリーンライン長南町道～県道茂原大多喜線間の供用開始を目指します。
また、圏央道大栄～横芝間の令和6年度開通に向けた整備を促進するほか、通学路の安全対策に引き続き取り組みます。
- 物流拠点としての港湾機能を強化するため、千葉港千葉中央地区埠頭の再編整備に引き続き取り組みます。また、洋上風力発電施設の受入れのための名洗港の改修工事や千葉港海岸船橋地区の国直轄による浸水対策を進めます。
- 建設業の魅力をPRし、将来の担い手の確保につなげるため、児童・生徒などを対象とし、三次元空間をデザインするゲーム（マインクラフト）で道路や建物の制作技術を競うコンテストを行います。
- 誰もが利用しやすい駅となるよう、エレベーターやホームドアなどのバリアフリー設備の整備に対する助成について新たな料金制度を踏まえた拡充を行い、整備促進を図ります。
- 地域公共交通におけるデジタル技術を活用した交通サービスの導入を促進するため、市町村等が行う実証実験を支援します。
- 「県有建物長寿命化計画」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の県有建物について、建替えや大規模改修、計画保全等に取り組みます。

(3) 未来を支える医療・福祉の充実

ア 医療提供体制の充実と健康づくりの推進

<医療提供体制の充実>

- 地域医療を支える医師・看護師等を確保するため、修学資金の貸付や若手医師のキャリア形成支援、医師少数地域への医師派遣や産科医・女性医師の就労に対する支援を行うとともに、地域医療を目指す医師の育成のために設置した千葉大学医学部の講座について、実習を受け入れる地域病院を増やします。
- 地域の医療提供体制を維持するため、令和5年度から、診療所の承継への支援や医師少数地域で働く医師に対する経済的支援を行うとともに、周産期母子医療センターの医師確保のための研修への支援や訪問看護職員の技術向上を図る研修も実施します。
- 通院の負担が大きい発達障害児等を対象としたオンライン診療の推進を図るモデル事業や、圏外の医師も活用しながら24時間の往診体制の構築を目指すモデル事業を実施します。

<生涯を通じた健康づくりの推進>

- がん患者の生活の質の向上を図るため、アピアランスケアや若年がん患者の在宅療養を支援します。
- 骨髄移植等の治療により免疫が消失した方について定期予防接種の再接種費用を支援します。

イ 高齢者福祉と障害者福祉の充実

<高齢者福祉の充実>

- 高齢化が進行する中、特別養護老人ホーム等の施設整備を促進するため、引き続き県単独の助成を行うほか、認知症の支援体制を構築するため、相談体制を強化するとともに、人材育成研修を拡充します。
- 介護事業所における業務の効率化や利用者サービスの向上を図るため、ICTや介護ロボットの導入に取り組む事業者を支援します。特に令和5年度は、利用者の日常生活動作や生活の質の維持向上を図るため、コミュニケーションロボットを導入するモデル事業を実施します。

<障害者福祉の充実>

- 老朽化・狭隘化している千葉リハビリテーションセンターの再整備について、令和5年度から建設工事に着手します。
- 医療的ケア児等の支援体制の強化を図るため、中核的な役割を担う医療的ケア児等支援センターに看護師を配置して相談体制を強化するとともに、在宅で医療的ケア児等の介護を行う家族の負担を軽減するため、短期入所事業所の開設を支援します。

(4) 子どもの可能性を広げる千葉の確立

ア 子育て施策の充実

- 子どもの資質や能力を一層育むため、「自然保育」をはじめ保育の質の充実に向けた取組を推進します。
- 結婚支援を含む少子化対策に県全体で取り組むため、県と市町村で構成する協議会を設置するとともに、市町村と連携したセミナー等を行います。
- 子ども医療費助成について、頻回受診や長期入院の子を持つ世帯を支援するため、令和5年8月から制度を拡充し、自己負担の上限額を導入します。
- 児童虐待防止対策について、引き続き児童相談所職員を増員するとともに、児童相談所の新設・建替え、児童相談所の業務改善、関係職員への研修などに総合的に取り組みます。特に令和5年度は、児童相談所職員の採用広報を強化するほか、里親養育包括支援機関を活用した里親委託の推進や子ども家庭110番の体制強化に取り組みます。
- ヤングケアラーの支援体制を強化し、適切な支援に繋げるため、関係機関職員向けの研修を引き続き実施するほか、相談窓口や当事者同士が悩みを相談しやすい場を設置します。
- 児童養護施設等を退所する児童が経済的事情に関わらず進学できるよう、民間資金を活用した給付型の奨学金制度を創設します。
- 極低出生体重児等の成育を支えるため、専用の母子手帳として「リトルベビーハンドブック」を作成します。

イ 教育施策の充実

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、私立学校経常費補助について、県単独の補助単価を高校、幼稚園ともに2000円ずつ引き上げます。
- 多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、市町村と連携し、第3子以降の義務教育期間における学校給食費を無償化します。
- 理数教育や技能教科の指導の充実を図るため、県独自の専科教員等の配置を公立小学校140校に拡充するとともに、塾講師を活用して算数の専科指導を行うモデル事業を実施します。
- 高校生の情報活用能力の向上を図り、デジタル社会で求められる人材を育成するため、実践的な課題に取り組めるデジタル教材をモデル的に導入します。
- 県立高校の授業においてICTを効果的に活用するため、モデル校を巡回して授業改善を行う専門人材を配置します。
- 学校における実践的なキャリア教育を推進するため、本県が抱える課題の原因分析のための調査を行うとともに、県立高校の普通科においてキャリアデザインを学ぶプログラムをモデル的に実施します。
- 生涯にわたり必要な知識を学び直すリカレント教育を推進し、社会に求められる産業人材の育成につなげるため、産学官の連携体制を構築するための協議会を設立するとともに、学び直しの動機付けとなる講座を実施します。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、小学校と高校におけるスクールカウンセラーの配置を拡充するとともに、課題を抱える高校生が校内で気軽に相談できる居場所づくりも拡充します。

- 性暴力等の被害を受けた児童生徒の保護を図るとともに、加害教職員に対し厳正な処分を行うため、外部専門家による調査を実施する体制を構築します。
- 深刻な教員不足の解消を図るため、人材サービス会社と連携して教員志願者に訴求力の高い採用プロモーションを行うとともに、千葉大学教育学部と共同で抜本的な教員確保策の検討に向けたモデル事業を実施します。
- 教員の長時間勤務を改善するため、スクール・サポート・スタッフを増員するとともに、民間のノウハウを活用した業務改善に取り組むほか、休日部活動の段階的な地域移行に向け、人材バンクを設置するなど、市町村の取組を支援します。
- 県立学校のトイレ改修について、設計と工事をまとめて発注するデザインビルド方式の導入を進め、工事の前倒しを図ることで、令和11年度までに全てのトイレを洋式化します。また、学習環境の改善を図るため、県立高校の特別教室における空調整備を進めます。
- 特別支援学校の過密解消を図るため、整備計画に基づき、新設校の設置に向けた改修工事を行います。

(5) 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

- SDGsやダイバーシティを推進するため、県内企業等を対象とした「ちばSDGsパートナー登録制度」の登録促進を図るとともに、市町村職員や県内企業に対するセミナーを実施します。
- 仕事と家庭の両立支援や女性の登用・職域拡大に向け、積極的・先進的な取組を行う企業等を表彰するなど、引き続き男女共同参画にかかる広報啓発を行うほか、外国人と日本人が共に地域社会の一員として活躍できる地域づくりを推進するため、地域日本語教室を開催する市町村の支援を拡充します。
- 全ての県民を対象として福祉全般の相談に24時間365日体制で対応する中核地域生活支援センターについて、令和5年度から体制を強化し、自ら相談場所に赴けない方のために訪問相談を充実します。
- 市町村が福祉全般にわたる相談をワンストップで受け支援につなげていく重層的支援体制を構築できるよう、市町村に対する支援を拡充します。

(6) 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

ア 千葉の魅力の向上と活用

- 地域の活性化に向けた取組を推進するため、県や市町村、関係団体等が連携して地域振興策を検討します。
- 二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、インフルエンサーによるSNSでの発信や都内における本県専任の移住相談員の配置を引き続き行います。また、令和5年度は、情報発信を強化するため、県内各市町村の移住関連情報を一元的に発信するポータルサイトを作成します。
- 少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業と副業人材のマッチングを行い、地域の課題解決につながる企業の取組を支援します。

- 三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を生かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に発信します。特に令和5年度は、「千葉の海・大使」を任命するなど魅力発信を一層推進するとともに、県内の小学生が海にまつわる歴史・文化等を学ぶための「海の副読本」を作成します。

イ 環境の保全と豊かな自然の活用

- 家庭におけるCO₂排出量削減や災害時の電源確保を図るため、燃料電池・蓄電池の設置や電気自動車・V2H充放電設備(※)の導入に対し引き続き支援します。令和5年度から、集合住宅における充電設備の導入も支援の対象に加えます。

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

- 産業部門におけるカーボンニュートラルの取組を推進するため、中小企業が行う省エネ診断や設備更新を支援するとともに、事業者が建築する事務所等へのZEB(※)の導入を支援します。

※ZEB…Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

- 運輸部門における脱炭素化を進めるため、地域公共交通等の事業者が行う次世代自動車や充電等設備の導入を支援します。
- 電気自動車で観光できる環境の整備に向け、自動車の利用が多い観光地において、充電設備の設置促進や充電場所が分かるWEBサイトの作成などを行うモデル事業を実施します。
- 生息数が増加しているキョンの効果的な捕獲方法の開発に取り組むなど、特定外来生物対策を強化するとともに、印旛沼や手賀沼などにおいて急速に繁茂している外来水生植物の計画的な駆除を進めます。
- 将来を担う若い世代が環境保全活動の主体となる機会を創出するため、企業等と協力して、若者自らが企画した活動を支援します。

ウ 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

<千葉県誕生150周年記念事業>

- 本県ならではの文化資源や魅力の発信を通じて、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県内市町村が企画・実施する千葉県誕生150周年記念イベントを支援します。
- 幅広い世代の県民がふるさと千葉の魅力を再発見できるよう毎年開催している「県民の日」の記念行事について、令和5年度から6年度にかけては千葉県誕生150周年記念事業の一環として実施します。令和5年度は、県民参加・体験型のオープニングイベントを松戸市で開催します。
- 千葉県誕生150周年を記念して、株式会社オリエンタルランドと連携した文化イベントを実施します。
- 東京2020大会を契機に、本県がホストタウンとなったオランダ王国との文化交流を深めるため、千葉県誕生150周年記念事業として、オランダ出身の世界的アーティストであるテオ・ヤンセン氏の企画展を県立美術館で開催します。